



超域イノベーション博士課程プログラムで目標とされる人物像とスキル

社会システムの変革に至るイノベーションを導く人材に必要なもの。
それは、高い専門性を発揮しつつも、異質なるものへの想像力を備え、
従来の思考の枠組みや伝統的な価値観、自分自身さえをも疑う勇気を持ち、
それらを軽々と飛び越えていける俯瞰力と独創力を発揮し、
他の領域を巻き込んでビジョンを描き、
ひとりでは成しえなかったであろうイノベーションを実現させることができること。
すなわち、「**超えることができるひと**」。
そして、人々を超えさせることができるひとです。

このような人材となることに向けた成長の指針が「**超域コンピテンシー**」です。

超域イノベーション博士課程プログラムでは、超域コンピテンシーが示す4つの力を基準として、
選抜や、修了までに実施される試験などの評価を行うだけでなく、
超域に関わる人々が、自身の成長を確認したり、資質やスキルを伸ばしたり、
改善点を発見しそれに対する取り組みをデザインしたりする際の指標として、利用していきます。

そうした継続的な取り組みの結果として、プログラムに関わる全てのひとが、
超域コンピテンシーの4つの力を高めることで、
「超えることができるひと」へと成長していくことを望んでいます。



超域コンピテンシー 4つの力

知の力

自身の基盤となる特定の専門分野における高い知識・研究能力を備え、斬新な研究を構想し遂行する力、その社会的・公共的意義を他の専門との関係のもとで明快に説明できる力、および、広範な知識・見聞と、高い語学能力、発信力を指す。

- ✔ 高度な専門的知識・研究能力
- ✔ 専門分野以外の幅広い知識
- ✔ 高い国際性・語学力
- ✔ プレゼンテーション能力

発見する力

高度な教養と独創性のもとで、ものごとを俯瞰的に捉え、未知の問題を見つけ出す力、および、具体的な課題の骨格や要点を、他者の論理や異分野の背景・文脈をも踏まえて、柔軟に把握する力を指す。

- ✔ 物事を俯瞰し本質を見抜く力
- ✔ 独創的な視点で自ら課題を設定する力

解決する力

立場や専門性の異なる他者と意思疎通を図る意志と技術を備え、社会課題の具体的な解決に向けて独創的な議論を展開する力、

および、それを通じて新たな考え方や仕組みを積極的に取り入れ、解決策を立案していく力を指す。

- ✔ 立場や専門を超えて議論する力
- ✔ 独創的な解決策を構想する力

実践する力

解決策を実現へと導くまでの道程を立案し、他者を巻き込み、ときに統率する力、

および、様々な立場の他者と協働しながら、確かな指針を持って行動し、新たな価値を創造する力を指す。

- ✔ 企画立案する力
- ✔ 関係者と調整する力
- ✔ 他者と協働する力
- ✔ 統率する力